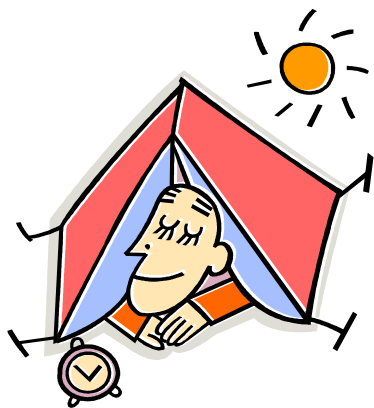


行事あらかると

夏・同窓会旅行 ~ 別世界の東京へ



去る八月十六・十七日に、毎年恒例、毎日セミナー同窓会旅行が行われた。(寺田先生含む十八名)昨年、一昨年は房総の海が旅先だったが、今年は、キャンプ場のある奥多摩へ向かうことになった。

筆者が東京へ来て七年。立川より先へは足を踏み入れたことがなかったので、奥多摩と聞いても、当初イメージがわかなかった。しかし青梅線に乗り換え、終着奥多摩駅に向かうにつれ、眼前の風景がみるみる変わっていくのには驚かされた。目的地につき、駅舎を出てすぐ感じたのは「すこし涼しい」というものだった。そこはもう山が目の前で、眼下には川が流れる、東京都とは思えない場所だった。

宿泊したのは、奥多摩駅から徒歩 10 分ほどの氷川キャンプ場だった。

やや遅れて駆けつけた筆者が現地に着く頃には、皆はもう夕食の準備にとりかかっていた。献立はカレーと焼肉。同時に翌朝の仕込みも始めていた。役割は、主に男子が火を起し、4 名の女子がもろもろの料理の仕度。豚汁とカレーがとても美味だったのは、女性たちの尽力によるところが大きいのは…いうまでもない(笑)

あたりが薄暗くなってきた頃、いよいよ宴が始められた。回生の異なる OB・OG だったが、そこは苦楽の経験を共にした同士、自然とうちとけていった。食事が中盤に差し掛かった頃になって、車で駆けつけてきた OB もいた。なんでも途中で停めたパーキングでトラブルがあり、予定時刻を大幅過ぎての到着だった。そんな災難も酒の肴に、その後も宴は続いていった。

翌朝…前日夜に仕込んだ豚汁に舌鼓を打ちながらの朝食。朝から豚汁をすすり、しっかり食欲のあるあたり、セミナー生はやはり「食べ方が違う」。その後は後片付けと、ロッジの掃除を済まして、恒例の記念撮影。お世話になったロッジの前と、できれば泳ぎたかった川の二ヶ所で撮り、一行はキャンプ場を後にした。

ソフトボール大会 ~ 秋はスポーツ ~

十月十二日(体育の日)、毎年恒例、毎日セミナーソフトボール大会が行われた。場所はおなじみの墨田区四ツ木緑地球技場。数日前までの天候不順で開催は危ぶまれていたが、当日は晴天に恵まれ、八時四十五分より開会式が行われた。

平松大会委員長が開会の言葉を述べ、つづいて印南公式審判員が紹介された。その後生徒を代表し、増本文君(笹塚販売店)が澁漣と選手宣誓をし、九時半から A 面、B 面に分かれて試合は開始された。

前年までの数年間、凄腕ぞろいの OB チームが、遺憾なく? チームワークを発揮し、セミナーチームを撃沈させ、拳句の果てに最多賞を勝ち取るという“KYぶり”を見せたのだが(注・現アドバイザーの一人は昨年度までそのチームとして参加)今年の卒業生チームは一味違った。きちんと手加減するところはし、場面を考慮してのプレーを心がけているように見てとれた。そんな昨年度までとの違いが見られた大会でもあった。

結局、佐藤先生率いる『佐藤ジャパン』が三勝一敗(得失点差 + 二〇)で優勝を飾った。午後三時頃から閉会式も行われ、その後は恒例の記念撮影が行われた。日焼けに顔を赤らめるセミナー生だったが、張り詰めた普段にはなかなか見られない「笑顔」をそれぞれに見せていた。その後希望者のみ早稲田別館にもどり、ささやかな打ち上げを行った。しかしそこは受験生。僅かな時間に日中の「余韻」を楽しんだ後、翌朝の授業に出席するべく、夜がさほど更けぬうちに、参加者は別館を後にしたのだった。

